

自主的環境保全活動の取り組み状況

(事業所名) 三菱電機㈱ 高周波光デバイス製作所

1 環境保全活動に関する方針等

1-1 環境保全活動に関する方針

高周波光デバイス製作所（以下：当所）は半導体デバイスの開発・製造機能を有し、電気エネルギー、化学物質等を大量に使用しており環境に及ぼす影響は極めて大きい。

当所は地球環境と地域社会に調和した事業活動を推進するために、環境方針を以下の通り定め、事業経営との共生を図りながら当所の事業活動、製品及びサービスの全てに適用し、持続可能な発展を目指す循環型システムの追求に取り組むと共に、継続的な向上及び環境汚染等の予防を図る。

「三菱電機グループ第8次環境計画」に沿って目的・目標を明確にし、環境管理活動を推進する。

【重点項目】

1. 環境重点管理テーマとして以下の事項に取り組む。

(1) 生産時 CO2 排出削減

①エネルギー起源 CO2 排出削減

16年度削減量：240t-CO2（14年度排出実績 0.8%相当の削減策実施）

②GHG 排出削減（排出量の維持管理）

(2) 環境負荷物質の削減

(3) 製品含有化学物質規制を含めた環境適合設計 (DFE) の推進

(4) 環境に配慮した事業活動の推進

2. 工事着手前の法規制確認・届出確認ルールの徹底と、遵法評価の2回/年、部門単位での実施などチェック機能の充実により、環境関連法規等のルールを確実に守る体制を強化する。

3. 当所周辺の自然環境を大切にすると共に、関係官庁、地域住民、取引先と積極的にコミュニケーションを図り、生物多様性の保持及び地域共生に努める。

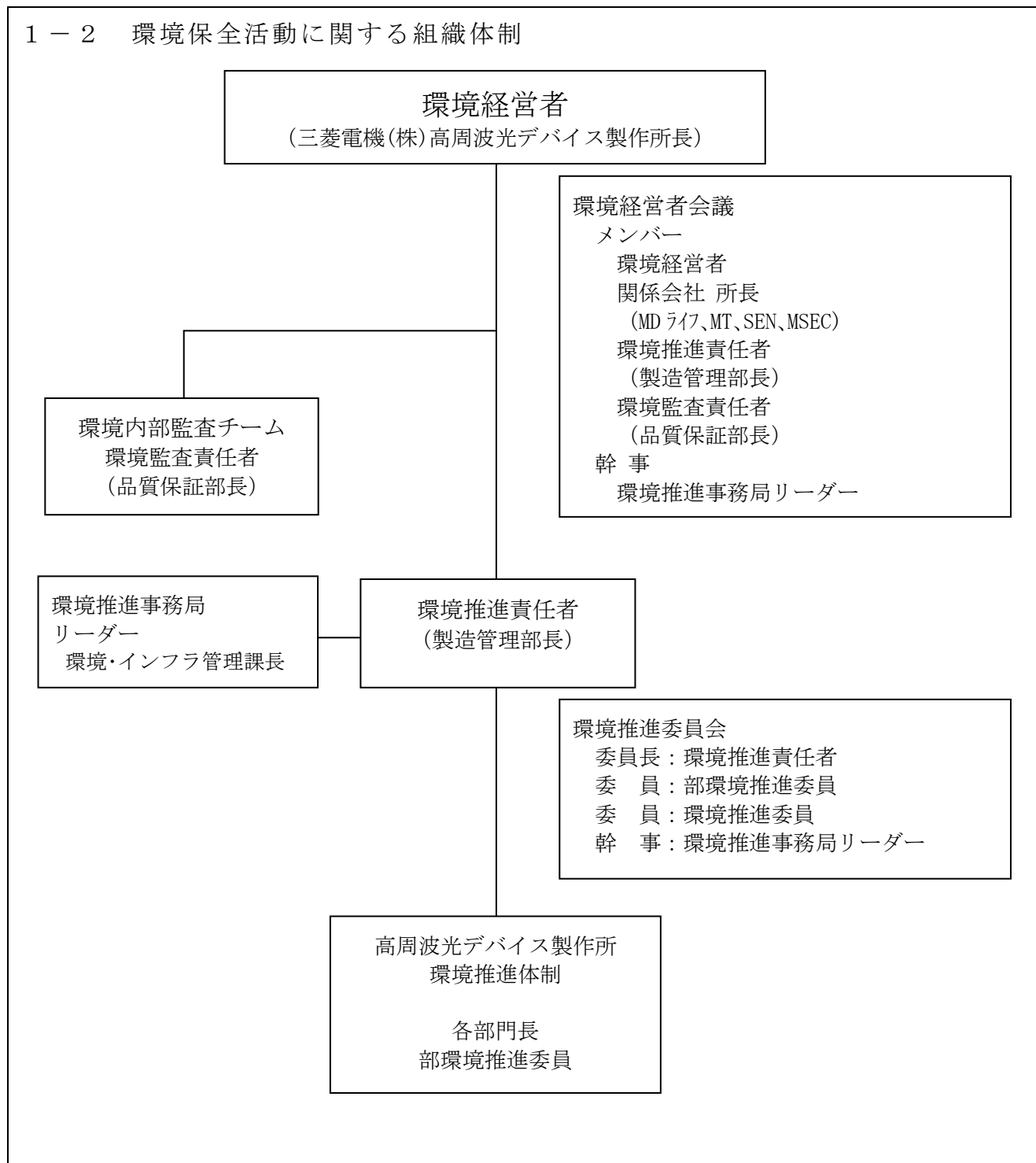
4. 当所内関係会社を含む全従業員に環境方針を周知させると共に、環境教育・広報活動等により、家族を含めた環境意識の向上と環境人材の育成を図る。

この環境方針は当所外へ公開する。

2016年4月1日 渡邊 斉
環境経営者：高周波光デバイス製作所所長

別紙 2

1 - 2 環境保全活動に関する組織体制



2 環境保全活動の実施状況等

項目	取組結果	今後の取組計画
エネルギー対策 (地球温暖化対策)	1. 14年度排出実績2.0%相当の削減策実施 目標削減量:600t-CO2 実績削減量:756t-CO2(達成率126%) ※14年度排出実績:29,989t-CO2 2. GHG排出削減 ①プロセスガス(PFC,HFC,SF6)の除害、適正処理を継続する 実績:排出量 1,796t-CO2 除害量 1,112t-CO2 ②業務用冷凍空調機器の定期点検を導入。漏洩量の抑制。 3ヶ月ごとの簡易点検及び定期点検を実施。漏洩なし。	1. 生産時CO2排出量削減(エネルギー起源CO2排出削減) 目的:14年度排出実績3.6%相当の削減策実施(1,080t/3年) 目標:14年度排出実績0.8%相当の削減策実施 →16年度削減量目標:240t-CO2 ※14年度CO2排出量:29,989t-CO2 2. GHG排出削減 目的:CO2以外の温室効果ガス排出量を改善・維持する 目標:①プロセスガス(PFC,HFC,SF6)の除害・適正処理を継続する。 ②業務用冷凍空調機器の点検を継続し、漏洩量を抑制する。
環境負荷物質削減	1. 排出予定のPCB小型機器、解体建屋で回収した照明用安定器等を処理業者へ排出予定で保管中 2. 低濃度PCBを12/15に排出し処分完了。 高濃度PCBは、1/27に排出し、最終処分も完了。	1. 目的:環境負荷物質の環境債務を削減する 2. 目標:①設備更新等で回収した、トランス、照明用安定器等PCB機器を適正管理。 ②PCB、アスベスト等有害物質の適正処理の継続実施
環境マネジメントシステム	1. ISO14001認証(2015年度 更新審査合格) 2. 16年度 ISO14001サーベイランス合格に向けた取組みの実施	1. 2016年度のサーベイランス審査合格に向け、環境マネジメントシステムの維持向上
環境教育	1. 2015年度版ISO14001, 全社一括認証に向けた社内プロジェクトへの参画→2017年度運用に準備を開始 2. 環境保全に関する従業員教育の継続した取組み実施	1. 法的要求事項の理解度と順守状況確認、及び、法改正への対応強化。チェックをする仕組みの構築と開示を推進する。 2. 新規の内部監査員、環境推進委員の含めた、育成強化。
地域社会活動 への参加	1. 工場周辺の社員での清掃活動(1回/年) 2. 瑞ヶ池の桜を育てる会(有志)参加 3. 日本生態系協会による構内生物の調査	1. これまでの活動の継続した取り組み 2. 北伊丹地区の生物多様性保全活動の計画と具現化 3. 準絶滅危惧種「マツバラ」の保全活動